

Namaste

# お釈迦様の ほほえみ



11

時宗布教伝道研究所員 小田 義宗

さて今回はお釈迦様に関する遺跡や町のお話ではなく、インドに存在した、日本式の仏教寺院についてふれてみたいと思います。

そのお寺は四大仏跡の一つ、釈尊成道の地ブッダガヤで、昭和四十八年に不戦と世界平和の誓いの証、そして仏教による国際融和の拠点として建立されました。その本堂内は日本式の仏具で荘厳されおり、私にとって長かったインド研修において、望郷のひと



時を堪能することができました。

ちなみにこのお寺は公益財団法人によって運営されていますが、その中で修行する僧侶は日本の各宗派から派遣されているため、時宗の僧侶の資格を有していれば、私たちでもここで修行することが出来ます。もちろん旅行者等の一般参拝は、どなた様でも可能です。またその境内には当初の建立目的から、インドの子供たちを対象にした無料の幼児保育施設や、貧困のため診療を受けられない人々を対象とした診療所がありました。いつか時宗の僧侶からも、ここで日印両国の懸け橋となるような人材が出てきてほしいと思います。

## ◆ 仏教の三聖木

### 一、菩提樹

お釈迦様が、この木の下で悟りを開かれたためとても有名で、インドにはたくさん自生しています。葉に特徴があり、見分けるのも容易です。またインドでもこの樹木で作られた数珠が、最高のものとされています。



### 二、無憂樹

お釈迦様の母である麻耶夫人が、この樹の枝をつかんだ右腕の脇からお釈迦様をご出産されました。生誕地のルンビニ園内にも植えられています。もちろん当時のものではありません。少し長細い葉が特徴です。



### 三、沙羅双樹

日本では涅槃図の背景に描かれていることで知られています。涅槃の地クシナガラで私自身は見つけることはできませんでしたが、涅槃堂の正面にこの樹がそびえ立っているそうです。

